

# 山武郡市広域斎場残灰処理等業務委託仕様書

## 第1 概要

### 1 業務概要

受注者は、山武郡市広域行政組合（以下「発注者」という。）が保管する残灰の回収、運搬、分別、適切な中間処理、最終処分、残骨の納骨及び処理過程において発生する副産物（有価物）売却益の発注者への納入を、関係法令を遵守の上行うものとする。

2 回収場所 千葉県東金市堀上1357番地 山武郡市広域斎場

3 予定数量 8,000kg

※見込数量であるため、変動する可能性がある。数量に変動があった場合でも、業務委託料及び副産物（有価物）売却益納入額の変更は行わない。

4 契約期間 令和7年 月 日から令和8年3月31日まで

## 第2 業務内容

### 1 回収

- (1) 回収日時は、契約締結後、協議し決定する。
- (2) 原則として月1回の回収とする。（全10回予定）
- (3) 斎場職員立会いの下、残灰を保管したドラム缶と空のドラム缶を交換し行う。ただし、最終の回収時には発注者が求める数量のドラム缶を設置する。
- (4) 回収日ごとに、回収数量を記載した、「残灰受領書」（様式任意）を発注者に提出する。
- (5) 初回の数量は、ドラム缶10本、フレコン（500kg）2袋程度を見込む。

### 2 運搬

- (1) 運搬車両は、回収場所まで進入可能なものとする。
- (2) 運搬車両には、飛散、転落防止対策を講じること。

### 3 分別及び処理

- (1) 全ての工程において、他の火葬場等のものが混入しないよう必ず区別して行うこと。
- (2) 残骨、副産物（有価物）、その他に分別を行うとともに、発生量について記録すること。
- (3) 副産物（有価物）については、金、銀、プラチナ、パラジウム、その他金属ごとに、発生量を記録し、適正に売却処分を行うこと。
- (4) その他については、関係法令を遵守し、適正に処理するものとする。
- (5) 施設の所在地は、有事の際に組合職員がすぐに駆けつけることができること並びに組合職員が必要時に行う施設検査及び確認が日帰りで出張

できるよう、離島を除く関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）にあること。

#### 4 残骨の納骨

残骨は、礼節をもって丁寧に扱い、離島を除く関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）に所在する埋葬地に全量納骨すること。

#### 5 副産物（有価物）売却益の納入

契約書に定める副産物（有価物）売却益（以下「売却益」という。）は、次のとおり納入するものとする。

- (1) 受注者は、回収日から起算して3週間以内に、次の額を納入すること。  
ア 初回収分 売却益を12で除した額（以下「月額納入額」という。）  
に、令和7年4月以降の保管月数を乗じた額  
イ 2回目以降回収分 月額納入額に、前回回収日以降の保管月数を乗じた額
- (2) 納入方法は原則として発注者の指定する口座への振り込みとし、振込手数料は受注者の負担とする。
- (3) 売却益の額は、回収した残灰の量に応じ増減はしないものとする。

### 第3 提出書類

#### 1 契約締結後7日以内

- (1) 責任者、作業従事者名簿（様式任意）
- (2) 分別及び処理工程の概要（様式任意）
- (3) 副産物（有価物）の、金、銀、プラチナ、パラジウム、その他金属ごとの発生見込量及び単価の見込み（様式任意）
- (4) 業務委託料の内訳を明記した見積書
- (5) 納骨施設に、受注者が残骨を納骨することができることを示す書面の写し

#### 2 回収後10日以内

残灰預り書（別紙様式1）（原則毎月）

回収から処理施設への搬入までが、明確かつ時系列的に分かるよう日時を沿えた写真を添付すること。

#### 3 分別及び処理完了後速やかに

残灰処理報告書（別紙様式2）（原則毎月）

残骨、副産物（有価物）、その他に分別する工程が、明確かつ時系列的に分かるよう日時を沿えた写真及び分別後の写真を添付すること。

#### 4 数量確定後速やかに

発生数量及び搬入先報告書（別紙様式3）（2回）

9月末まで及び業務完了時の回収分に対する、残骨、副産物（有価物）、その他の発生量及び搬入先を明記すること。そのうち副産物（有価物）については、金、銀、プラチナ、パラジウム、その他金属ごとに記入す

ること。なお、業務完了時における有価物の量は、3月時点で確定済の量とする。

- 5 廃棄物処理完了後  
マニフェストの写し等
- 6 業務完了時  
業務完了届

#### 第4 その他

- 1 発注者が処理工程等の確認等のため、受注者に協力を求めた場合は、その求めに速やかに応じること。
- 2 委託業務の遂行に当たっては、熟練した作業員を充てるとともに、本仕様書に基づき業務規律の維持に努めること。
- 3 本仕様の業務内容に関し、第三者に再委託を行う場合、業務に着手するまでに業務再委託申請書を提出すること。併せて、当該再委託にかかる業務委託契約書の写しを提出すること。
- 4 業務上知り得た秘密は、他に漏らさないこと。契約期間終了後においても同様とする。
- 5 受注者は、契約期間終了後であっても、本業務の範囲内における発注者の問合せに応じること。
- 6 本仕様に定めのない事項、又は疑義が生じたときは、双方協議して決めるものとする。
- 7 過去3年間の火葬件数及び残灰回収量は次のとおりである。

年度	火葬件数（件）	残灰回収量（kg）
令和4年度	2, 7 5 8	8, 5 2 6
令和5年度	2, 7 7 5	7, 1 9 5
令和6年度	2, 7 7 9	8, 0 2 7

（火葬件数は、一般火葬のみの件数）